

京都市会だより

第23号

平成14年(2002年)
11月15日発行

発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
TEL.075(222)3700
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



堀川通

病院・水道・下水道
市バス・地下鉄

各公営企業の健全な経営に向け活発な議論
公営企業決算を認定

9月市会定例会

9月定例会は、9月9日から10月8日までの30日間開かれ、市長提出議案65件、議員提出議案13件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計の13年度決算5件については、公営企業決算特別委員会を設置して審査のうえ、すべて認定しました。伝統的景観保全に係る防火上の措置に関する条例など議案55件については、それぞれ所管の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

また、健康保険法等の一部改正に伴う関係条例や人事委員会委員の選任など議案5件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、日朝国交正常化交渉と拉致事件の真相究明を求める意見書など10件の意見書・決議を、原案のとおり可決しました。

定例会の経過

| | | |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 9月 9日 | 本 会 議 | 会期の決定、市長の提案説明など |
| 9月11日 12日 | 本 会 議 | 議案や請願の議決、代表質問、公営企業決算特別委員会の設置など |
| 9月11日 ~10月2日 10月 8日 | 公 営 企 業 特 別 会 議 決 委 員 会 | 各公営企業会計の決算の審査 |
| 9月30日 10月 1日 8日 | 常 任 委 員 会 | 付託された議案や請願の審査など |
| 10月 8日 | 本 会 議 | 決算の認定と、議案や請願、意見書・決議の議決など |

今回審議した主な議案の内容は次のとおりです。(結果は4面参照)

伝統的景観保全に係る防火上の措置に関する条例の制定

長い歴史を通じてはぐくまれてきた京都市の伝統的な建築物や歴史的な町並みの景観を保全し、将来の世代に継承するため、こうした建築物などの意匠や構造などに関する新たな防火基準を本市独自に定めるものです。これにより、一定の条件を満たす地区内では、伝統的な意匠を残しながら、建替えや改築が可能となります。

火災予防条例の一部改正

消防法の一部改正により、立入検査の時間制限が廃止されたことや避難口などにみだりに物件が置かれることのないよう管理が義務付けられたことに伴い、規定の整備などを行うとともに、最近の社会情勢に適切した火災予防の徹底を図るために必要な事項を定めるものです。

「公営企業会計決算概要」

病院事業
診療収入は14億6千4百万円(対前年度比29%の増)で、一般会計からの繰入金27億2千8百万円などを加えた総収益は14億8千2百万円となり、一方、総費用も同額の収支均衡の決算となりました。

水道事業
昨年10月からの料金改定により、総収益は330億円(対前年度比15%の増)となり、総費用は328億4千3百万円で、1億5千7百万円の黒字となりました。また、累積黒字は30億4千2百万円となりました。

公共下水道事業
昨年4月からの使用料改定により、総収益は58億7千百万円(対前年度比63%の増)となり、総費用は56億8千2百万円で、19億8千9百万円の黒

字となりました。また、累積赤字は60億2千百万円となりました。

自動車運送(バス)事業

旅客数の減少による運送収入の減少などにより、総収益は232億3千9百万円(対前年度比21%の減)となり、総費用は261億8百万円で、28億6千9百万円の赤字となりました。また、累積赤字は116億2千6百万円となりました。

高速鉄道(地下鉄)事業

運輸収入は増加しましたが、広告料収入などの減少により、総収益は20億3千9百万円(対前年度比10%の減)となり、総費用は48億8千9百万円で、27億5千5百万円の赤字となりました。また、累積赤字は千958億千9百万円となりました。